

東大和市立郷土博物館だより

令和7年7月1日発行 第125号  
東大和市立郷土博物館  
207-0031 東大和市奈良橋 1-260-2  
電話 042-567-4800  
FAX 042-567-4166

# 光と風

企画展示

## 戦後80年 資料とエピソードでつづる戦前・戦中・戦後

期間 7月19日(土)~9月15日(月・祝) 会場 郷土博物館企画展示室

期間中の休館日 月曜日・7月22日・8月12日・ただし7月21日と8月11日は開館

今年は戦後80年です。当時を知る人もだんだん少なくなり、戦争の記憶から、記録へと戦争の歴史の伝え方も変わってきています。また、戦争を知らない世代が、戦争の歴史を学び戦争の記憶を伝える試みも始まっています。

今回の企画展示では、戦前・戦中・戦後を通して残された様々な資料や、当時を生きた人びとのエピソードから、戦後80年を振り返りたいと思います。

この夏、あらためて戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えてみませんか。

### ダンボール織り教室

8月10日(日)・11日(祝・月) 午前10時~11時

郷土博物館ロビー・定員各回10人・申し込み参加費とも不要

やさしいはたおり体験です。どなたでもご参加いただけます。

作品はお持ち帰りいただけます。



## 夏の催し案内

☎マークがついている行事は、事前にお申し込みください。郷土博物館 042-567-4800 までお願いします。

### ロビー展示 ミヤマクワガタの魅力

狭山丘陵にミヤマクワガタは生息していませんが、多摩川の左岸では見られます。また、伊豆諸島にはミクラミヤマクワガタが見られ、さらに奄美大島にはアマミヤマクワガタが生息します。



日本のミヤマクワガタや外国産の標本と比較とをしながらミヤマクワガタの魅力について紹介します。

期間 7月19日(土)～9月15日(月・祝日)  
場所 郷土博物館エントランスホール

### 戦災建造物

#### 旧日立航空機(株)変電所の公開

戦災建造物である変電所を公開しています。どうぞお越しください。

公開日 水曜日・日曜日

時間 午前10時30分～午後4時

#### 変電所のライトアップ

平和市民のつどいが開催される8月16日(土)は、特別公開及びライトアップを行います。ぜひ、お越しください。

時間 午後4時30分～午後7時30分(ライトアップは午後6時30分～)

場所 都立東大和南公園内

### 昼間の星の観察会

太陽の表面など、昼間にみえる天体を観察します。

期日 ①7月19日(土) 太陽と月をみよう/  
②8月31日(日) 太陽をみよう/時間 どちら

午前9時30分～10時30分(時間内ならいつでもどうぞ)/案内 郷土博物館職員、星空ボランティア/会場 郷土博物館前

### 自然観察会

#### オオムラサキと夏の虫

オオムラサキや、セミの羽化、カブトムシやクワガタムシを探します。朝の会、夜の会、どちらかだけの参加も可能です。

期日 7月20日(日)/集合 朝の会：午前9時30分・夜の会：午後7時30分 郷土博物館会議室/定員 25人(申込順)/持ち物 筆記用具・懐中電灯(夜の会のみ)/案内 郷土博物館職員/観察地 狭山緑地 \*朝の会はお昼前に、夜の会は午後9時前に解散予定です。

### 星空観察会

#### さそり座のアンタレスをみよう 月や夏の星をみよう

さそり座の一等星アンタレスや、夏の星を天体望遠鏡でのぞいてみませんか。

期日とテーマ①7月26日(土)さそり座のアンタレスをみよう/②8月30日(土)月や夏の星をみよう/集合 午後7時 郷土博物館ロビー/持ち物 筆記用具、懐中電灯/定員 どちらも40人(申込先着順)/案内 星空ボランティア・郷土博物館職員/会場 郷土博物館前

## プラネタリウム夏番組

### 9月7日(日)まで好評投影中

夏番組投影表(休館日は除く)

	午前11時	午後1時	午後3時
平日(～7/18・9/2～5)			
平日(7/23～8/1)	宇宙船レオの大冒険		新オーロラを見た恐竜たち
平日(8/5～8/22)	新オーロラを見た恐竜たち	MMX火星衛星探査計画	
土・日・祝日			
平日(8/26～8/29)	クルムカとマジックロケット		

どの番組も、前半は季節の星座解説があります。

## 一般番組

### 新オーロラを見た恐竜たち

約7千万年前の白亜紀、地上にはさまざまな恐竜があふれかえっていました。肉食恐竜・ナヌークサウルスの子ども「ヌック」と、植物食恐竜・アラスカケファレの子ども「ファル」。異なる種族である2匹の、出会いと運命と絆。鮮やかなオーロラが輝くアラスカの空の下、太古の昔に生きていた恐竜たちの命の物語です。



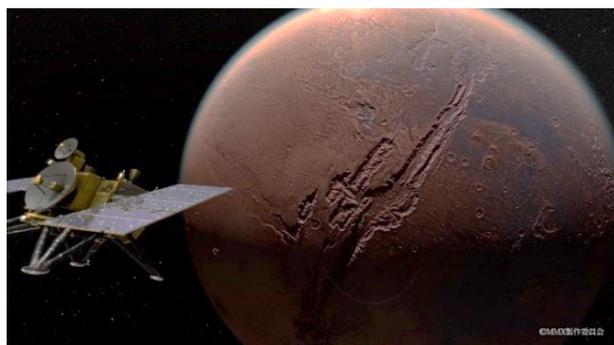
©D&D ピクチャーズ

投影時間は、星座解説を含め45分程度です。  
投影日時 平日は午後3時～、土・日・祝日は午前11時～と午後3時～/8月5日(火)～22日(金)は、平日も午前11時～と午後3時～

## 特別番組

### MMX火星衛星探査計画

小惑星探査機「はやぶさ2」は2020年に小惑星リュウグウの欠片を地球に持って帰りました。その技術を受け継いで行われるのがMMX火星衛星探査計画です。『火星の衛星フォボスに着陸してサンプルを持ち帰る』ミッションを紹介します。投影時間は、星座解説を含め45分程度です。  
投影日時 土・日・祝日 午後1時～/8月5日(火)～22日(金)の午後1時～



©MMX製作委員会

## こども特別番組

### 宇宙船レオの大冒険

宇宙でもっとも速い宇宙船レオ。ナビのゾーイやロボットのファスティと一緒に、宇宙パトロールへ出かけます。目的地は、太陽系を飛び出したボイジャー1号!ワクワク・ドキドキの大冒険です。投影時間は、星座解説を含め40分程度です。  
投影日時 7月23日(水)～8月1日(金)  
平日の午前11時～

## こども特別番組

### クルムカとマジックロケット

森の妖精クルムカは宇宙が大好き。友だちのキッピーと一緒に、森の洞窟にある魔法のロケットに乗って太陽系をめぐる旅へ出発します。投影時間は、星座解説を含め45分程度です。  
投影日時 8月26日(火)～29日(金) 午前11時～

### 季節の投影 たなばたの星さがし

織姫星や彦星を空でみつけたり、七夕のお話を紹介したりする投影です。職員が直接お話しします。  
投影日時 7月6日(日) 午前11時～、午後1時～、午後3時～ 50分程度

### 星空さんぽ投影 皆既月食

3年ぶりに、最初から最後までみられる皆既月食が深夜に起こります。月食について、職員が直接お話しする投影です。  
投影日時 9月6日(土) 午後3時～ 50分程度

☆秋番組は9月13日(土)から投影します。

- \* 投影途中での入退場はできません。時間に余裕を持ってお越しください。
- \* 観覧券は午前9時から館内の券売機で販売します。
- ☆ 観覧料 大人300円/小・中学生100円/未就学児は無料

# 博物館カレンダー

郷土博物館は7月～9月のあいだ、次のように開館します。■は休館日です。

9月9日～12日は、番組入れ替え作業のため、プラネタリウムのみお休みさせていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
7	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
月	27	28	29	30	31		
						1	2
8	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
月	24	25	26	27	28	29	30
	31						
		1	2	3	4	5	6
9	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
月	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

## この夏の天文ショー

7月7日は七夕。七夕の星は、夏の大三角の星たちです。7月より8月のほうが空高く見つけやすいです。ちなみに旧暦の七夕は8月29日です。

8月13日明け方に、ペルセウス座流星群が活動のピークを迎えます。満月過ぎの月がほぼ一晩中みえています。流れ星がいくつみえるかもしれません。

9月8日の夜遅く、3年ぶりに皆既月食が起こります。欠け始めは午前1時27分、皆既月食は2時30分から3時53分です。欠け終わりは4時57分で、間もなく、月が沈んで朝になります。

今年の中秋の名月は10月6日です。

詳しくは毎月の「星だより」(館内発行)をご覧ください。(野崎)

まちの文化財

あんなもの  
こんなもの

## 半鐘 (はんしょう)



今は防災無線が設置されていますが、それより前は、火の見櫓(やぐら)にかけられた半鐘を打ち鳴らし、住民に急を知らせていました。打ち鳴らし方にも、リズムやスピードに決まりがあり、それによって、火事が近いのか遠いのか、火事ではなく水害なのか、鎮火したのかなどとわかるようになっていました。

今回ご紹介する半鐘は、芋窪にあったもので、火の見やぐらを撤去することになり、博物館にやってきました。シンプルな形の半鐘で、そこに刻まれた文字を見ると「明治十七年申一月吉日 芋久保村 非常用具」と読めます。急を知らせる道具の一例であるとともに、明治時代の半鐘が残されているということは、アジア太平洋戦争の時の金属供出を免れたものであるということを意味しています。

お寺の梵鐘(ぼんしょう)・火の見櫓の半鐘だけでなく、鍋釜まで供出の対象となりました。この半鐘は無事でしたが、各地で供出によって失われた文化財はたくさんあったことでしょう。(梶原)

7月19日(土)～9月15日(月・祝)

郷土博物館企画展示室で

企画展示

戦後80年

資料とエピソードでつづる

戦前・戦中・戦後

を開催します。ぜひご覧ください。

写真の半鐘も展示します。